

## 令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	西條 圭
		全体計画						経費区分		-		内線	3415
事務事業名	4165 畜産総合対策事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012100 農業の活性化												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060104 農林水産業費・農業費・畜産振興費											
	事業	010000 畜産総合対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を防ぐ。 そのさと有機センターのメンテナンスの充実を図り、良質の堆肥を製造する。						ワクチンの普及、自衛防疫体制の整備及び畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病発生の減少に寄与した。 家畜診療所の運営、北信食肉センターの運営に負担金を交付し、畜産振興・食の安全安心に寄与した。							

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
そのさと有機センター攪拌措置点検、袋詰設備及びロボットパレタイザー保守点検の実施	そのさと有機センター攪拌装置点検及び修繕
平成29年度 実績	平成30年度 実績
そのさと有機センターロボットパレタイザー及び袋詰め設備点検	そのさと有機センター攪拌装置点検および修繕
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
そのさと有機センターロボットパレタイザー及び袋詰め設備の点検 ホイールローダータイヤ購入	そのさと有機センター施設設備の点検及び攪拌装置修繕

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		3,658	5,479
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,658	5,479
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.1
人員 コスト	正規職員	2,906.0	2,906.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	129.8
	計	2,906.0	3,035.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		6,564.0	8,514.8

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	945	消耗品945
13節 委託費	378	機械設備保守点検378
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,878	須高家畜防疫協議会負担金171、北信食肉センター管理運営負担金239、家畜診療所運営費負担金1,468
その他	457	土地借上料

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,914	消耗品 159 修繕料 2755
12節 委託費	158	機械設備保守点検委託 158
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,952	家畜防疫協議会負担金150 北信食肉センター負担金 239 家畜診療所運営費負担金 1,563
その他	455	土地借上料 455

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	畜産農家の規模は縮小しており、それに伴う事業のスリム化を図る必要がある。野生イノシシや野鳥による家畜伝染病の懸念もあることから、防疫体制については継続した取り組みが必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	あまり有効ではない
評価コメント	そのさと有機センターの経年劣化による修繕箇所が複数確認されている。同施設の今後の展望について、JAながのと協議していく必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	防疫組織の事業の合理化を図っている。縮小傾向にある須坂市畜産業の動向を見極め、効率化できる部分と廃止する部分を洗い出す必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

そのさと有機センターの今後の展望を含めた、須坂市畜産業の在り方。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

市内の畜産業は縮小している中、たい肥処理施設は必要不可欠。今ある共同施設を最小の経費で維持できるよう努める必要がある。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

家畜の疾病防止や公害防止に有効な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--